

市町村名		北大東村					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	北大東小中学校ランチルーム整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ 生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉 における住民サービスの向上		
担当部課名	教育委員会	事業実施 年度	平成 29 ~ 平成 29 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	III-9		
事業内容	北大東小中学校は児童生徒数約60名の小規模校であり、昭和58年度完全給食開始以来、全校生徒・教職員が調理場併設のランチルームで給食を実施している。地域特有の教育環境構築に向け、児童生徒の豊かな心を育み、教育の資質向上へ繋げる為、運営システムの改善に伴い、改築整備を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額 ・執行額 【単位:千円】		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	合計	
	A. 予算現額	89,000	-	-	-	89,000	
	B. 執行済額	88,992	-	-	-	88,992	
	うち 交付金充当額	71,193	-	-	-	71,193	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	-	-	-	100.0%	
執行状況の説明	<p>・当該工事は、既設の給食調理場を解体後の場所に建設するものであるが、解体施設一部にアスベストが含まれており、解体粉塵防止工事・専用運搬車導入等により、不測の日数を要したため、工事及び施工監理に係る37,052千円をH30年度に繰越した。</p> <p>・最終的な執行率は100.0%となり、計画的に執行できた。</p>						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	・ランチルームの整備:設計の実施 ・ランチルームの整備:監理・工事の実施	目標	実施	-	-	-	-
		実績	実施	-	-	-	-
		目標	-	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-	-
	目標	-	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-	-	
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	・ランチルームの設計完了 ・ランチルーム監理・工事完了	目標	完了	-	-	-	-
		実績	完了	-	-	-	-
		目標	-	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-	-
	目標	-	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-	-	

事業完了後の取り組み

	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況					
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度 目標/発現年度	
事業完了後の成果目標	安心安全な給食運営・児童生徒・教職員のコミュニケーション向上と食育向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方検証する。	目 標	-	-	-	-	80%以上
		実 績	-	-	-	-	100.0%
		目 標	-	-	-	-	-
		実 績	-	-	-	-	-
状況説明	<p>【R1年度】 ・アンケートに回答してくれた方の全員が安心安全な給食運営・児童生徒・教職員のコミュニケーション向上と食育向上が図られたと回答したため目標を上回った。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
<p>【R1年度】 ・学校給食のある日にはランチルームを毎回利用しており、児童生徒教職員が一堂に会し給食を食べる環境は生徒数の多い学校等ではなかなか体験できないことであるためアンケート結果が良かったと考える。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>			<p>【R1年度】 ・地元食材の利用を通し食育の向上を図る必要がある。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>				
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)							
<p>【R1年度】 ・地元でできた食材を給食に取り入れることや食材の提供者や保護者等地元の方を招いて給食を食べる会等を行い更なる食育の向上を図る。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>							

市町村名	北大東村							
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】								
事業名	北大東村コミュニティ施設周辺整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-エ 過疎・辺地域地域の振興			
担当部署名	経済課	事業実施 年度	平成 27	~ 平成 30	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所		
事業内容	北大東村内で毎年行われる祭り行事では県内外から多くの関係者や観光客が訪れており、歴史・文化の継承及び観光誘客を図るため、コミュニティ施設周辺整備を行う。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	合計		
	A. 予算現額	85,000	45,300	116,000	96,000	342,300		
	B. 執行済額	84,694	45,079	113,206	95,990	338,969		
	うち 交付金充当額	67,754	36,063	90,564	76,792	271,173		
	執行率(%) (B/A)	99.6%	99.5%	97.6%	100.0%	99.0%		
執行状況の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・住民・祭り行事委員(奉賛会)からの配置変更・設置案の要望があり、調整及び基本計画の変更(建物の配置等)に不測の日数を要した為、年度内の工事完了が困難となり、55,011千円を平成28年度へ繰越した。 ・施工スペースの確保が困難との理由から施工法等の再検討を行う必要があったため、調整及び計画の変更により不測の日数を要したため、工事及び施工監理に係る35,302千円をH30年度に繰越した。 ・最終的な執行率は99.0%となり、概ね計画的に執行できた。 							
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況						
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	・コミュニティ施設周辺の整備: 公衆トイレ(25㎡)・駐車場(1,500㎡) ・行事観覧席 設計監理・工事の実施	目標	設計監理・工事 の実施					-
		実績	設計監理・工事 の実施					-
	・金比羅宮備品格納庫(25㎡)・櫓の整備 ・大東宮周辺整備設計の実施	目標	-	設計監理・工事 の実施				-
		実績	-	設計監理・工事 の実施				-
	・大東宮備品格納倉庫(38.88㎡)・櫓の整備完了 ・大東宮周辺整備工事の完了 ・秋葉宮周辺整備設計の完了	目標	-	-	整備及び実施			-
		実績	-	-	整備及び実施			-
・秋葉宮備品格納倉庫工事の実施 ・秋葉宮観覧席工事の実施 ・秋葉宮周公共トイレ工事の実施	目標	-	-	-	工事の実施		-	
	実績	-	-	-	工事の実施		-	
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況						
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	・コミュニティ施設周辺の公衆トイレ、駐車場、 行事観覧席の整備完了	目標	整備					-
		実績	整備完了					-
	・金比羅宮備品格納庫(25㎡)・櫓の整備完了 ・大東宮周辺整備設計の完了	目標		設計監理・工事 の完了				-
		実績		設計監理・工事 の完了				-
	・大東宮備品格納倉庫(38.88㎡)・櫓の整備完了 ・大東宮周辺整備工事の完了 ・秋葉宮周辺整備設計の完了	目標	-	-	完了			-
		実績	-	-	完了			-
・秋葉宮周辺整備の完了	目標	-	-	-	整備の完了		-	
	実績	-	-	-	整備の完了		-	

事業完了後の取り組み

事業完了後の成果目標	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況					
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度 目標/発現年度
		施設を利用した祭りの来場者数 368人以上	目標	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	延べ696人	
	目標	-	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-	-	

状況説明

【R1年度】
・大東宮祭約261人、金刀比羅宮祭約212人、秋葉神社祭約223人で延べ696人の来場者があり、目標の368人を上回った。

【 年度】
・

【 年度】
・

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
-------------------------------------------	--------------------------------

<p>【R1年度】 ・観覧席や公共トイレ等の整備を行ったことにより子供からお年寄りまで参加しやすい環境になったことが来場者増に繋がったと考える。 ・県の離島観光・交流促進事業である島あっちいにてお祭り等に参加する観光メニューの開発を行い観光誘客に繋がった。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>	<p>【R1年度】 ・引き続き観光メニューを作成し更なる観光誘客に取り組む必要がある。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------

今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)

【R1年度】
・村内宿泊施設の増築に伴い観光受入体制が整うことから更なる観光メニューを開発し観光誘客に取り組む。

【 年度】
・

【 年度】
・